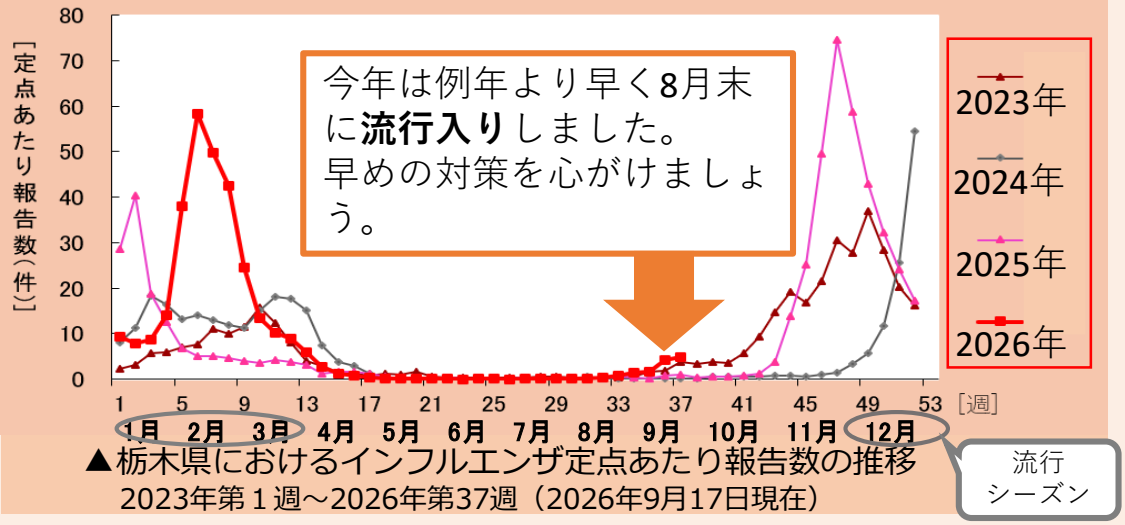
とちぎ感染症情報 10月号

（最新の患者情報）

発生動向等サーベイランス情報

インフルエンザが早期流行入り！

▲インフルエンザ（栃木県HP）



▲栃木県におけるインフルエンザ定点あたり報告数の推移
2023年第１週～2026年第37週（2026年9月17日現在）

高齢者はインフルエンザにかかると重症化しやすいので、ワクチン接種による重症化予防が効果的です！

◎感染経路

・飛まつ感染
感染した人の咳や、くしゃみなどの飛まつを吸い込むことで感染

・接触感染
ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることなどで感染

◎感染対策

・外出後の手洗い
・咳エチケット
・適度な湿度の保持
・こまめな換気
・十分な休養
・バランスのとれた食事

感染対策のポイント

シリーズ27：流行は1回で終わるもの？

インフルエンザは、冬期に爆発的に流行し、一峰性のピークを作ることが一般的です。しかし最近では、今シーズンのように夏場から患者が見られ、流行時期が早いことも経験するようになりました。このような場合には、1回目の流行が収まったあとにタイムラグを伴って2回目の流行が起こることもあります。したがって、インフルエンザが流行する時期であれば、流行が下火になってもワクチンを接種する意義はあると言えるでしょう。



感染症専門家からのアドバイス

インフルエンザ流行時期において、施設では感染した方を素早く発見し、感染対策を講じることが重要です。また、早期に治療を行うことで周囲への流行を抑えることが期待できる薬剤もあるため、医療機関での適切な診断が重要と言えます。